

広報

ひかりがわ

今年、最初の水泳に喜ぶ児童たち



「プールをきれいにするぞ!」と意気込む6年生たち

夏到来。プールの季節です

夏。児童たち待望の季節の到来です。6月25日は、東白川小学校のプール開きの日。しかし、当日はあいにくの曇天で、気温と水温が低いため水泳の授業は見合わせることに…。ところが、昼過ぎには気温、水温ともに入水可能なまでに上昇し、午後に水泳の授業を予定していた高学年が一足先に“プール”を楽しみました。また、同月17日には、高学年児童らによるプールの清掃作業が行われています。

7

No.
505
2003



東白川村緑化少年団が行く

白川の 源流を求めて

東白川村を東から西へ横断する清流白川。

大きな川ではないけれど、地域の皆さんに愛され、魚もたくさん泳いでいるきれいな川です。6月9日、東白川村緑化少年団として中学1年生31人がその源流に足を運び、澄みきった自然を身体で感じるとともに水質の調査を行いました。源流と下流の水質を比較し、生徒らがどんなことに気づいていったのかレポートしてみましよう。

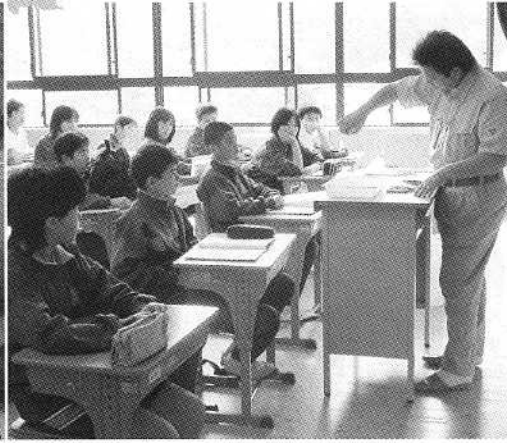
写真3…容器をフリフリ測定中



写真2…まずは下流域の水を調査



写真1…検査薬の取扱いについて説明を受けます



●源流から下流まで三箇所を調査

“源流の水。それがどれほど澄んでいるのか”そのことを調べるため、今回、生徒たちが白川の源流に向かうのですが、やはり比較対象がなければ、具体的な答えが出ないというもの。そこで、中学校前に流れる白川の水と、飛驒川下流域の美濃加茂市内の水をそれぞれ採取し、その比較対象としました。

●飛驒川と白川。その違いは…

八時三十分。中学校の一眼目の授業の始まりです。

まずは、教室内での授業となります。検査に使う検査薬の取扱いや測定方法について、役場の環境課職員から説明を受けた後《写真1》、生徒らは五つのグループに分かれて、COD・硝酸・亜硝酸・アンモニア・リン酸の濃度と、見た目・臭気・味覚の計八項目について調査を実施。その方法はごく簡単で、測定項目別の検査薬が入った専用のスポイトで水を吸い取

り《写真2》、数分間かくはんした後《写真3》、薬との科学反応で変化した水の色から濃度を調べるというものです《写真4》。

調査は、飛驒川の水、白川の水の順で、それぞれの結果数値を一枚の用紙にまとめながら行われました《写真5》。二種類の水を比較した生徒からは「飛驒川の水って…プールのみたいな臭いがする」「美濃加茂市と東白川の水質の違いに驚いた」「源流の水はどれくらい綺麗なんだろう？」との声があり、これから向かう源流の水質への期待感を募らせたようです。

●目的地は白川源流。いざ出発

九時三十分。教室での水質調査を終えた生徒らは、学校の二限目の授業の開始とともにバスに乗り込み、加子母村内にある白川の源流へと向かいました《写真6》。

中学校を出発して三十分ほどで、加子母村の乙女溪谷キャンプ場に到着。キャンプ場の近くには国有林の入口ゲートがあり、それを通り過ぎて二十分ほど林道を登ったと



写真6…源流へ出発！



写真5…測定結果をグループで話し合います

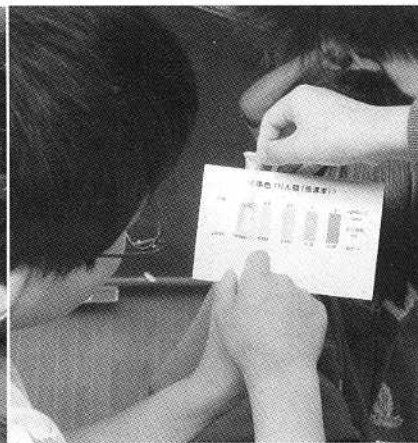


写真4…色見本との照合。キレイかな？

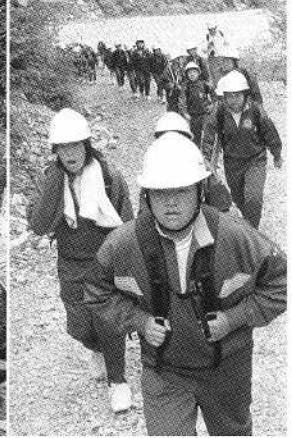
写真9…グループに別れて調査を開始する生徒たち



写真8…源流=測定現場に到着です



写真7…源流まであと少し



ここで生徒らはバスを下車。ヘルメットを被るなど源流へ向かう準備を済ませ、徒歩にて更に十分ほど進むと、林道が途切れ、代わりに水の流れる岩場へと行きあたります《写真7》。そう、ここが今回、水質調査をする場所となります《写真8》。実際には、更に一時間ほど沢を上ったところが源流となりますが、生徒らの安全性を考慮した結果、この場所で調査することとなりました。

ここは、長野県堺に位置する小秀山の北西、加子母村式之谷という国有林の中。緑化少年団団長であり、今回の案内人の栗本重秋さん（柏本）が「ひよっとすると、中学生の皆は一生のうちに一回しか立ち入れない場所かもしれない」と話されるように、許可が無いと入山できない場所です。今回は、東濃森林管理署と可茂農山村整備事務所に協力いただきました。

●源流の水。そのまま飲めます

十時五十分。栗本団長から山や木についての話を聞いた後、ビー

カーと検査薬を手にした生徒らは、グループごとに調査を開始《写真9、10》。中には「できる限り上流で！」と川上で水を採る生徒の姿もありました。

調査手順は、教室で行ったものと同じで、それぞれの項目ごとに検査薬で濃度を調査し、記入用紙に結果を記入します。教室での調査との大きな違いは、検査薬に色の変化が表れないこと。それだけ水の質が良いということになります《写真11》。また、源流の水のみ調査が許された「味覚」には、生徒たちも興味があるようで、岩場に腹ばいになり水面に顔を付けて水を飲む生徒の姿もチラホラ見られました《写真12》。

更に、今回の調査には小さな副産物がありました。調査を開始して間もなく「捕まえた！」と体長5cmほどの黒い生き物を両手ですくい上げた生徒がいました。イモリのように腹部が赤色でない生き物：そう、サンショウウオです《写真13》。本村でもオオサンショウウオを見かけることはありますが、この種のものは、まず見かけるこ



写真13…現地で珍生物を発見



写真12…直接飲んでみよう!?



写真11…色は無色透明!!

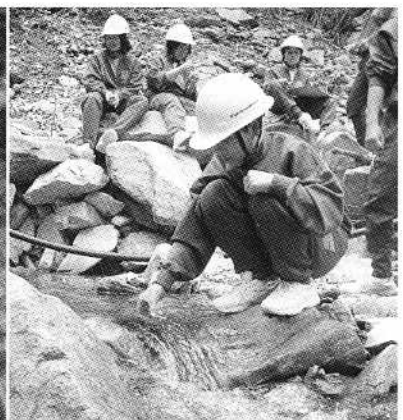


写真10…まずはビーカーで水を採取☆

東白川村へ流れる清流白川。源流からの川マップ



今回調査した
白川の源流

加子母村役場

東白川中学校

東白川村役場

写真15…冷たい！けど気持ちいい♪ 写真14…栗本団長の話に耳を傾ける生徒たち



とはないうです。澄んだ川に生息するサンショウウオの存在からも、この源流の水は彼らの「お墨付き」といえます。

●源流の水は上質

身体で感じた自然の恵み

十一時十五分。先生の呼びかけに応じ、調査を終了した生徒らが集まります。

栗本団長による川の話聞いた後《写真14》、生徒らは、自分たちで測定した源流・白川・飛騨川の三箇所の水質データをもとに、グループごとにその違いを比較検討。生徒らは、数値の違いから、下流にいくにつれ川が汚れていることを認識し、源流の水が違和感なく飲めることや、サンショウウオという水質のバロメーターの存在を知ったようです。また、調査中に川へ入って「水の味が澄んで

る感じがする」「水中で目を開けたとき、村の川より川底がクッキリ見える」と、はしゃぐ姿からも生徒一人ひとりが自然の恵みを身体で感じとっているように見えました《写真15、16》。生徒らは、その後、東濃森林管理署員に国有林の話聞き《写真17》、昼食後に下山。一日の余韻を心に残しつつ帰路につきました。

今回の経験（授業）は、単なる水質調査でなく、源流の自然を身体で感じることから、その恵みの深さを知ることが大きなポイントであったといえます。上流域の自然を守っていくことが、いかに重要なことなのか。下流域の自然環境を保存するために自分たちは何をすべきなのか。源流で過ごした一日は、生徒一人ひとりの心の中に、何かを残したといえるのではないのでしょうか。



写真17…国有林についても勉強しました

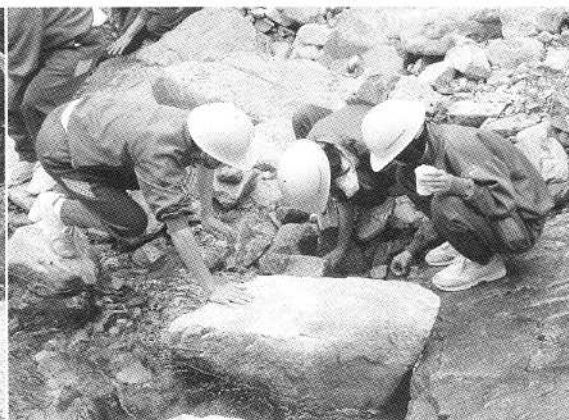


写真16…どんな生き物がいるんだろう？と川底に興味津々

できごとと事情

▶ 優しくも力強い演奏をする奏者たち



その音色に感激。児童ら音楽に親しむ

六月四日、村内の小中学生を対象として『平成十五年度岐阜県へき地児童生徒芸術フェスティバル』が、はなのき会館で開催されました。

芸術鑑賞の機会が少ないへき地の小中学校の児童生徒が、芸術に直接触れることで、豊かな情操や感性の育成に資する機会を提供することを目的に、県教育委員会が主催。今回、子どもたちが鑑賞したのはマリンバ（木琴）のアンサンブルで、「星に願いを」「メヌエット」など全十三曲目の演奏のほか、アンサンブルとの共演で、学校ごとに全校合唱をするなど、広く芸術に親しむフェスティバルとなりました。児童生徒からは「きれいな音だった」「柔らかい音のする楽器ですね。でも、その中に鋭さも感じられました」と意義ある会となったようです。

一緒に遊ぼう♪名女大交流会



◀ ゲームに夢中になる児童と学生

同大学の方針のもと、小学校で毎年実施されているもので、学生らは、最初の一限目を授業参観として、各教室での授業風景やその方法を参観。二限目には、学生の進行によるレクリエーションゲームを行い、互いに交流を深めました。交流を終えた学生からは「みんな素直でいい子ばかりだし、ゲームも楽しくできて良かったです」と。児童らも「楽しかった♪」と、お姉さんたちとの交流を楽しんだようです。

六月十日、東白川小学校で名古屋女子大交流会が行われ、同大学の児童教育学科を専攻する一年生百五十人と小学一、二年生五十人が遊びなどを通して交流をしました。これは、経験、体験に重点を置く」という

村を詠む。樋口さん“いろはかるた”作成

「ボケ防止にと作ってみたんですけど、知人の協力で地元の老人クラブなど多くの人に見てもらってらるようで、嬉しいやら恥ずかしいやら」と話されるのは西洞の樋口敬一郎さん。以前から俳句を趣味としていた樋口さんが、この度、書きためた俳句を「いろは」順にまとめた「いろはかるた」を完成させました。かるたには、村の名所や四季を詠んだものが多く盛り込まれており、本村を知る人には、その情景が身近に感じられる内容になっています。また、第二集、第三集の作成を知人に勧められ、現在その作業に取り組んでいるそうで、樋口さんはもちろん、周りの人にとっても楽しみとなっているようです。



◀ かるたを手にする樋口さんと、その作品の一部

ゆるっしやい
やっとかめやなも
「へえこん茶」
西洞銀座へ
見において
鉄道は
無いけど有るよ
「道の駅」

の村のつ

水難事故に備える。東小で救急救命講習

毎年この時期に、水の事故を心配して行われているもので、保護者らは事故に対する予備知識や対処の概要の説明を受けた後、心肺蘇生法や三角巾を使った実技講習を受けました。今回の参加者は、小さな子どもを持つ母親が中心ということもあり、「我が子が事故にあつたら」と受講する姿勢は真剣そのもの。特に、心肺蘇生法では、事故者が大人と子どもの場合で対処方法が異なるため、対処方法を念入りに確認したりメモをとったりする姿がみられました。参加者からは「いざという時、対処出来るか自信はないけど、何も知らないよりはいい。きつと役立つと思います」との声がありました。



◀ 気道確保。呼吸確認。実技講習の様子

六月十八日、可茂消防事務組合職員の指導のもと、救急救命講習会が東白川小学校で行われ、低学年の保護者や教諭など二十二人が参加しました。

悪条件下、太公望ら釣果を競う

で行われました。参加者百三十人は、高水量で低水温という悪条件の中、釣果を競い、それぞれに釣りを楽しんでいました。結果は次のとおりです。※○数字が釣果（単位：匹）

【チャンピオンコース】▼優勝：⑦奥村芳元Ⅱ可児市▼2位：⑦山田勘弥Ⅱ八百津町▼3位：⑤森政弘Ⅱ岐阜市▼4位：⑤田澤充朗Ⅱ長野県木曾郡▼5位：⑤酒井洋一Ⅱ白川町【シニアコース】▼優勝：④細江徹Ⅱ白川町【ジュニアコース】▼優勝：④伊藤晋也Ⅱ付知町【レディース】▼優勝：①立木順子Ⅱ土岐市



◀ チャンピオンコースに入賞された皆さん

六月二十九日、釣具メーカーのシマノが主催するシマノ・ジャパンカップ鮎釣り選手権中部予選B大会が、本村を流れる清流白川（中川原水辺公園の周辺、2km区間）

健闘。本村で消防操法郡大会開催

村とともに、本大会に向けて春から訓練を積んできており、どの消防団の操法も集大成というべき内容。本村から出場した第二班自動車ポンプも健闘しましたが、上位入賞には至らず。しかし、個人表彰では、一番員を務めた古田康さん（平）が優秀賞を受けました。

【大会結果】▼優勝：川辺町消防団▼準優勝：富加町消防団▼三位：八百津町消防団



◀ 本村の代表選手六人（中央下が個人表彰を受けた古田さん）

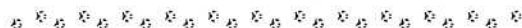
天候に恵まれた六月二十九日、第四十七回加茂郡消防操法大会が本村で開催され、標的に水を当てるタイムや、操作の正確さを競いました。各町



『教育実習を終えて』

京都光華女子大学

文学部英語英米文学科 安江杏里



私が3週間、東白川中学校で過ごしての生徒の印象は、とにかく「元気で、優しく純粋な心」の持ち主の子ばかりだということです。あと、笑顔が耐えないし、きれいだということです。その心と笑顔に私は3週間支えられました。これからあと1年弱また学生生活に戻り、辛いことにぶち当たった時にみんなの元気や笑顔を思い出すことで、乗り越えられる気がします。逆にみんなには、何も教えてあげられなかったように思います。授業も十分なこともできなかったように思います。そして緊張している私に、声をかけてくれる生徒たちに感動しました。最後に手紙を頂いて、こんな私でも先生らしいこと、力になれたこともあったんだと思い、頑張ってたかったと思えました。みんなには、『今』を大切にしてほしいです。自分は今、これには一生懸命になれるというものにはとことん力を注いでほしいと思います。

実習中は、色々なところから力をいただきました。ありがとうございました。



▲「鯉釣りをしたら、こんなのが釣れました」と、ナマズを手に来庁された安江守平さん(平)



れのん
古田 玲音ちゃん
(泰之さん・京子さん=平)



まあ
村雲 満安ちゃん
(昭仁さん・理佳さん=曲坂)

このコーナーの子どもたちはみな同い年。10年後、20年後「広報」を見ればホラ! 1歳のあの子の顔が...

いかっせや

…みんなの広場…

仲間あつまみ



今井政志さん

(五加大沢・22歳)

トヨタカローラ岐阜㈱・下呂町勤務

※「この村?好きですよ。特にお茶と川遊びが好きなので、毎年、春と夏が来るのを楽しみにしてます」と話してくれる若者を紹介します。

●趣味

車のドレスアップ。スノボ

●特技

ピクピクって耳が動かせる

●好きなモノ

ケーキとか甘いもの

●将来の夢

お金持ちになりたい

●好きな異性のタイプ

オトナっぽい人

●結婚について

早いうちにしたいですね…
まだ相手いないですけど

戸籍の窓

(6月1日～
6月30日)

●誕生おめでとうございます

安江 奏乃 { 太一 (中通)
 かの 亜子 (中通)
宮川 鈴加 { 晴光 (中通)
 すずか 恵子 (中通)

●おくやみ申し上げます

古田 やゑ 92歳 (上親田)
今井 正巳 81歳 (大沢)

職場アレコレ



東白川接骨院

今月は、村内に新しく誕生した「東白川接骨院」を紹介합니다。「自分が世話になった人たちに恩返しをしたい」そう思ってこの仕事をしています。以前は、僕の実家(岡山県内の接骨院)で働いていましたが、兄弟がその思いを果たしてくれそうなので…僕ら一家は、嫁さんの実家のある東白川村に。ここで“恩返し”をしていくつもりです」と話されるのは院長の永田弘二さん。本院の開業は今年の4月で、施術所は、みつば保育園の北側にあります。また、村について永田院長は「この村には、温かい人、優しい人が多いですね。なんだか心が落ち着きます。皆さん、痛いところがあれば気軽に来てくださいね」と話されました。



清水信道さん、未央さん
葉名さん 一家
(柏本)

ゆーい
ファミリ

今月は、一月に村にイターンされた柏本の清水さん一家を紹介します。
「田舎暮らしがしたい」
その思いから山仕事に興味をもち、インターネットで色々調べているうちに、村の森林組合の求人情報にたどり着いたんです」と、イターのキッカケについて話される清水さん一家は、揖斐川町の出身で、ご夫婦と一歳になる葉名ちゃん、の三人家族。村での新生活



について、ご主人は「自然がいっぱいあっていいところ。職場の人たちにも良くしていただいているので助かっています」と。奥さんも「保育園でやっつてる“園庭開放”は嬉しいですね。葉名にも同じ年頃の友達ができました♪」と、村での生活を楽しんでいるようです。地域の行事にも積極的に参加し、「いつか：自分たちの家を建てたいですね」と話される清水さん一家でした。

ちよつと、よつて

ほっとアグル

6月15日、村内2つの保育園で、環境整備作業がそれぞれ実施されました。越原保育園では、保護者ら40人が参加し、仮設プールの設置や庭木の剪定、砂場の整備などを行いました。「年1回のことやし、子どもたちに喜んでほしいで…」と保護者らも意欲的に作業に取り組んでいました。





落語絵本の紹介です。お城暮らしのお殿さまが目黒へ行った時、はじめて食べた「さんま」。

その美味しさが忘れられません。「さんまを食べたい」と誰にも言えず、でも、食べたくて食べたくて…。殿様はさんまと出会い、自分の知らない世界があることを知るのですが、最後の精一杯の知ったかぶりも、見事空振りに。世情にうとい殿様のトンチンカンを笑うお話です。

自衛官募集

防衛庁では、防衛大学校学生・防衛医科大学校学生・航空学生・看護学生・一般曹候補学生・曹候補士を右表のとおり募集しています。

その他詳細については自衛隊岐阜地方連絡部美濃加茂分駐所へお尋ねください。TEL 0574-25-7495

	応募資格	受付期間	試験期日
曹候補士	18歳以上27歳未満	8月4日～ 9月10日	9月20日
一般曹候補学生	18歳以上24歳未満		9月20日
航空学生			9月23日
防衛大学校学生	18歳以上21歳未満	9月12日～ 10月10日	11月8、9日
防衛医科大学校学生			11月1、2日
看護学生	18歳以上24歳未満		10月19日

刑務官採用試験

■受験資格：刑務A（昭和49年4月2日～昭和61年4月1日生の男子）、刑務B（同女子）

■申込受付期間：平成15年7月22日～8月5日

■試験：1次…平成15年9月21日、2次…平成15年10月17、18日

■問合先：刑務A…岐阜刑務所庶務課（058-239-9821）、刑務B…笠松刑務所庶務課（058-387-2175）

入国警備官採用試験

◆受験資格：昭和55年4月2日～昭和61年4月1日生の者

◆採用予定数：薬40名

◆受付期間：平成15年7月22日～8月5日

◆試験：1次…平成15年9月28日、2次…平成15年10月22、23日

◆問合先：法務省名古屋入国管理局（052-955-0927）

55周年を迎えた検察審査会

検察審査会は、本年7月12日に検察審査会法施行55周年を迎えます。検察官が被害者（犯人を思われる人）を裁判にかけなかったこと（不起訴処分）のよしあしを、国民の中からくじで選ばれた11人の検察審査員によって審査する。それが検察審査会制度です。詳しくは、多治見検察審査会事務局（TEL0572-22-0698）までお問合せください。

平成15年度「緑の募金」運動に

ご協力いただき有難うございました

村内募金総額201,212円は、岐阜県緑化推進委員会可茂支部へ送金しました。

市町村合併 あれこれ

6月7日、第2回美濃加茂市・加茂郡町村合併協議会が美濃加茂市中央公民館で開催されました。会では、①合併の方式（＝美濃加茂市への編入）②新市の名称（＝美濃加茂市）③新市の事務所の位置（＝美濃加茂市太田町3431番地の1）④小委員会の設置（＝新市建設計画検討小委員会、議会議員の定数等に関する検討小委員会の設置）の4議案について協議され、全て原案どおり承認されました。

また、第2回協議会の傍聴に訪れた人は、管内住民など計41人で、本村からは2人が傍聴。協議会は、面倒な手続きの必要もなく、どなたでも傍聴することができます。東白川村の将来を左右する本協議会、皆さんも会場に足を運んでみてはいかがでしょうか。詳しくは協議会事務局（TEL0574-27-5792）までお問合せください。

美濃加茂市・加茂郡町村合併協議会、 今後の開催日について

■第3回美濃加茂市・加茂郡町村合併協議会
平成15年7月19日（土） 午後1時30分～

■第4回美濃加茂市・加茂郡町村合併協議会
平成15年8月12日（火） 午後1時30分～

※会場は、美濃加茂市中央公民館2階201集会室を予定しています。

国民年金保険料免除制度について

国民年金は20歳から加入し、60歳までの40年間、保険料の納付が必要ですが、所得の減少や失業などで経済的に保険料の納付が困難な場合には、本人の申請によってそれらを免除する制度があります。また、保険料免除制度には、全額免除と半額免除があります。

申請の手続きは、①年金手帳 ②印鑑 ③失業などの場合は、雇用保険の「雇用保険需給資格者証」または「離職票」の写しを持参のうえ、役場住民課（有2162）へお越しください。

※申請期間は、7月から翌年6月までになりますので、7月から免除を希望する場合は、8月末までに申請してください。

ありがとうございました

御寄付 (6/30現在)

(敬称略)

【みつば保育園】

竹とんぼ・竹水鉄砲＝老人クラブ清楽会

えんぴつ＝今井三郎（美濃加茂市）

お茶＝東白川村茶業振興会

【越原保育園】

砂場用砂＝安江伴睦（陰地）

花苗＝松岡勝（陰地）

えんぴつ＝今井三郎（美濃加茂市）

お茶＝東白川村茶業振興会

【東白川病院指定】

金20万円＝今井和（大沢）

お茶＝東白川村茶業振興会

【社会福祉事業指定】

金10万円＝古田碩雄（上親田）

【社会福祉協議会】

清拭布＝今井輝恵（曲坂）

古切手＝古田タクエ（平）

古切手＝おたのしみ会（神付）

古切手＝商工会

お茶＝東白川村茶業振興会

金10万円＝安江喜重（黒淵）

金5万円＝井戸きくゑ（久須見）

金3千円＝安江繁美（宮代）

金2万7,530円＝

白川茶屋（フリーマーケット寄付）

金3,391円＝白川茶屋（募金箱）

野生鳥獣をむやみに捕獲することは法律で禁じられています。

野生鳥獣（サル、イノシシ、ノウサギなどの哺乳類及び鳥類）を法定の手続きをせずに捕獲する事は鳥獣保護及狩猟に関する法律（鳥獣保護法）で禁じられています。

農作物被害を野生鳥獣から守るために捕獲する場合であっても、例外規定はありません。狩猟行為として行う場合、有害鳥獣保護許可を得て行う場合以外に、野生鳥獣を捕獲した場合は、鳥獣保護法違反となり、同法により罰則が課せられる場合があります。詳しくは産業振興課農林係（有5173）まで

関税務署に

「税務相談専用電話」

0575-25-1441

が設置されました

●税務相談専用電話（関税務署に設置）におかけになると、税務相談室岐阜北分室へ転送され、相談室の職員がご相談をお受けいたします●相談時間は、土日祝日を除く午前9時から12時までと午後1時から5時までです●ご相談は匿名でもお受けしております。どうぞお気軽にご利用ください



電気のご相談は
(財) 中部電気保安協会
加茂事業所
TEL 〇五七四 (二六) 六五二〇

こんなこと
していませんか？



8月は「電気使用安全月間」
電気設備の安全点検をして
電気は正しく安全に
使いましょう

住宅金融公庫からお知らせ

住宅金融公庫では、平成15年7月2日（水）～9月1日（月）まで第2回個人向け融資（マイホーム新築、マンション、建売）を受付します。なお、リ・ユースやリフォーム融資は、平成16年3月22日まで受付中です。詳しくは同公庫名古屋支店（TEL 052-263-2900）までお問合せください

ふれあいと 対話が築く 明るい社会

7月は“社会を明るくする運動”強調月間です

本運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。また、本村では、2人の保護司と3人の更生保護婦人による活動が行われています。

東白川小学校 4 年生
「お菓子の国」

花の作品展



安江護くん
(日向)



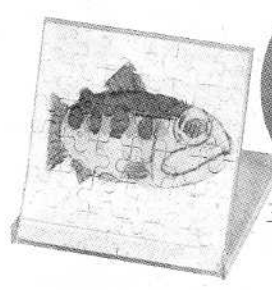
安江果菜子さん
(柏本)



今井優希くん (平)

みつば保育園
「お父さんの顔」

東白川中学校 2 年生
「部屋のインテリアをつくろう」



三戸拓実くん
(大明神)



古田佐奈恵さん
(西洞)



永瀬若奈さん (下親田)

短歌



転校の教師の言葉身に沁みて散る桜花遠く眼に追う
安江守平
濃く淡く緑萌え立つ裏山に藤のむらさきひとときわはなやぐ
苅田清美
病む人の全快祈り萎えし手で祈る紙鶴は千羽を救う
樋口敬一郎
せきれいは隣の車庫で子育て中屋根で近づく人を威嚇す
安江節子
幼稚さと荒々しさを備えもつ孫も今年は中学生となる
安江嘉子
水張りて田植え間近の澄める田に緑明るき山の影落つ
古田緑
庭隅にしるく香れる沈丁の葉裏にひそむかたつむりおり
安江とくよ
「斯くのごと生くる」と八十路に入りし兄蝸牛描き絵手紙呉るる
田口かずみ
近頃は母に似てきたと云はれる度ふしくれし手をジツト眺める
苅田良香
伸びのびと天指す程の木となりて一ツバタゴはいま花盛り
安江龍玉
やわらかき光に透きて黄水仙明るき花の道ポストまで
小林道子
白樺の林に残る白雪にふと口遊ぶ「月よりの使者」
今井米子
赤道を越えて連る島々の暑さ想へり夏来りなば
安江嘉久一
炎天下喉の渇きに一服の新茶はうまし風吹きとおる
早瀬久子
幾度もエンジン止めて腰休め老を覚えぬお茶刈る吾は
今井光彦
クロッカス一輪咲きて畑すみのそのみ春の光をはなつ
今井かな
日もすがら稲田に入り捕植なす老の大仕事一人ほめ居り
安江澄
皆様の作品をお寄せ下さい。ご投稿は毎月二十日までに
越原・安江嘉久一宛にお出し下さい。

人目の動き

— 6月末住民登録人口から —

世帯数	908世帯
人口	3,101人
転入	6人
転出	2人
出生	2人
死亡	2人

先月と比較して 4人増
昨年と比較して 3人減

ぼれびろ言

▼自然を愛するこ
と▼宮澤賢治に「グ
スコブドリ」の伝
記」という作品が
あります。貧しい
農家の子であった
ブドリが、苦難にめげず苦学の
末科学者になり、自分たちを苦
しめた凶作をなくす研究と実践
をします▼ところが冷害に襲わ
れてしまったため、ブドリは自分
を犠牲にして火山を噴火させ、
大気中の炭酸ガスを増やして気
温を上げるのです▼百十年近く
前に生まれた宮沢賢治が炭酸ガ
スの温室効果を知っていた▼自
然を愛した天才らしい話です
(K)